

国際ゾンタの歴史・業績

会員組織として

- 1919** 米国、ニューヨーク州、バッファローにおいて、複数ゾンタクラブが連合体を設立。
- 1920** ゾンタ旗（または、ゾンタの色）及び紋章を採択。
ゾンシャン誌第一号発行。現在は年2回発行。
- 1927** 米国外で初のゾンタクラブをカナダ、トロントに設立。
- 1930** 「国際ゾンタ」の名称を採択。
- 1931** オーストリア、ウィーンにおいてヨーロッパ初のゾンタクラブが発足。
- 1948** Zクラブ第1号を米国、カリフォルニア州、バーバンクに設立
Z&GZクラブプログラムを通して、「奉仕とアドボカシー（政策の支持）を通して女性に力と権利をもたらす」と言うゾンタの使命を世界の学生間に浸透させ、新しく意義ある学生主導の奉仕とアドボカシープロジェクトを立ち上げようと、ゾンシャン達が働きかける。
(Z&GZはZクラブ及びゴールデンZクラブの意)
- 1948** ラテン・アメリカ初のゾンタクラブをチリ、サンチャゴに設立。
- 1952** アジア初のゾンタクラブをフィリピン、マニラに設立。
- 1965** ニュージーランド初のゾンタクラブ（複数）を設立。
- 1966** オーストラリア初のゾンタクラブ（複数）を設立。
- 1970** アフリカ初のゾンタクラブ（複数）を設立。
- 1987** 国際ゾンタ世界本部を米国、イリノイ州、シカゴに開設。
- 2012** 初のゾンタ e-クラブをウルグアイに開設。
e-クラブ（電子的通信によるクラブ）とは、それを通して地域にとらわれずクラブを設立しゾンタの使命を遂行する方法として、国際ゾンタが提供する最新の選択肢である。
- 2014** ゾンタのテーマ「奉仕とアドボカシー（政策の支持）を通して女性に力と権利を与える」を採択。
- 2019** ゾンタ百周年を祝う

女性に力と権利を

- 1938** 有名なゾンシャン、アメリア・イアハートを記念して、彼女の失踪後アメリア・イアハート奨学金を設立。
現在、宇宙関連科学・宇宙関連工学の博士課程にある世界の有能な女性たち最大30人にそれぞれ奨学金1万USドルを授与している。現在までに約1,600件の奨学金授与を行ない、これは、世界73か国、1,100人強の女性に対し、総額1千万USドル以上を提供したことになる。



- 1984** 国際ゾンタ財団の設立。
1923年以來、女性に力と権利を与え、彼女たちが、より広く教育、健康管理、経済的機会、及び、安全な生活環境を手に入れられるようにと、国際ゾンタは総額4,090万ドルを超える金額を提供してきた。国際ゾンタ財団への寄附をもって、国際ゾンタは、女性の生活、その子供たちの生活、そして彼女たちが生活し働いているコミュニテイを向上させることができる。
- 1990** 若い女性が公共事業及び政治面で活躍を続けることを奨励する「公共事業に携わる若い女性達への奨学金・YWPA」を設立。
この賞は、公的機関及び民間事業において優れたリーダーシップの手腕と献身を示す16-19歳の若い女性を表彰するものである。このプログラム開始以來、800件以上の授与をしており、その総額は83万USドルとなり、56か国から700人以上の若い女性が受賞している。
- 1998** 更に多くの女性が経営を学び実業界でのキャリアを目指すことを奨励するために、「ジェイン・M・クローズマン・実業界を目指す女性への奨学金」を設立。
ゾンタは約600件の奨学金を授与し、57か国の400人を超す女性達に総額130万USドルを越す奨学金が与えられた
- 2019** 国際ゾンタは、女性が技術分野において教育をうけ、キャリアを求め、指導者としての役割を求めることを奨励するため、試験的プログラム「技術系女性への奨学金」を設立。
男性と女性が同等の機会を持つためには、女性が技術分野・技術開発の分野において、積極的な役割を果たす必要がある。この試験的プログラム発足のために国際ゾンタ財団は奨学金として11万2千USドルを支出する。32の地区及びリジョン^(*)からの奨学生に夫々2,000USドル、国際ゾンタレベルでの奨学生6人に夫々8,000USドルを授与する。

(*) 地区への所属が未決定のゾンタクラブがある地域をリジョンと称する。

奉仕とアドボカシー（政策の支持）：

- 1923** 最初の国際プロジェクトとして、トルコ、スミルナの孤児と女性達115,000人の保護のために資金を提供。
- 1962** ヨルダンにおいて、国連とパートナーを組んだ最初のプロジェクトに参加。
- 1969** 国際ゾンタが国連の諮問機関の資格を得る。
- 1983** 国際ゾンタが欧州評議会の参加資格を得る。
- 1986** 国際ゾンタがUNIFEM（国連婦人開発基金）における最初の非政府組織（民間公益団体）となる。（その後UNIFEMは他の国連機関と統合され、2010年にUN Women（国連ウイメン）となる）
- 1998** 「女性への暴力を終わらせる国際ゾンタの戦略（ZISVAW）」が継続するプログラムとして採択される。
- 2012** 例年のキャンペーンとして「ゾンタは女性への暴力に対してNOと言う」が発足。
今日も継続しているこのキャンペーンで、世界に広がる「女性の権利の侵害」の流れを認識するよう警鐘をならし、女性への暴力及び性の不平等に対して影響力のあるアドボカシー（政策支持）活動を行うよう世界のゾンタクラブの団結をすすめる。



2018 ゾンタの「早すぎる結婚を無くす」方針は実を結び、米国ユニセフ及び国連人口基金（UNFPA）協働の「児童婚をやめさせる」プロジェクトへ200万USドルの寄付金となる。

国際ゾンタは、UNICEF/UNFPAの地球規模プログラム「12か国における児童婚を終わらせる活動を促進する」への支持を表明。

12か国とは：バングラデシュ、ブルキナファソ、エチオピア、ガーナ、インド、モザンビーク、ネパール、ニジェール、シエラ・レオーネ、ウガンダ、イエメン、ザンビアである。